

## 平成25年度第4回川崎市政策評価委員会 摘録

- 1 開催日時 平成26年3月19日(水) 16時00分～17時00分
- 2 開催場所 明治安田生命ビル2階 第2会議室
- 3 出席者 委員 垣内委員長、川崎副委員長、野口委員、生駒委員、浅野委員、  
戸田委員、能條委員  
総合企画局 瀧崎局長  
総合企画局都市経営部 金子部長  
総合企画局都市経営部企画調整課 中村課長  
総務局行財政改革室 三田村担当課長  
事務局 総合企画局都市経営部企画調整課  
対馬担当課長、青木担当係長、小西職員

### 4 議 事

- (1) 平成24年度施策評価結果に対する川崎市政策評価委員会の改善意見等への対応結果について(報告)
- (2) 平成25年度施策評価の検証について
- (3) その他

5 傍聴者 なし

6 会議内容

### 議事(1) 平成24年度施策評価結果に対する川崎市政策評価委員会の改善意見等への対応結果について(報告)

垣内委員長)事務局の説明に対して、御質問、御意見等があればお願いしたい。

川崎副委員長)資料1-2の2の「臨海部の戦略的マネジメント」について、カタカナ語の使用頻度を下げるとの指摘に対して、「トリガー(引き金)戦略」に修正したなどの対応になっているが、「きっかけとなる事業」など、市民がより分かりやすい表現の方が望ましいと思われる。

対馬担当課長)この言葉を言い換えた場合、分かりやすく平易な言葉が見つからず、このような表現になっていると思われるが、趣旨は理解できるため、より市民が分かりやすい言葉になるよう所管課に伝えたい。

垣内委員長)4月以降に施策評価の評価票を各委員がチェックする形になるが、「カタ

カナ語の使用頻度を下げる」という指摘だと、このような修正になる可能性もあるため、趣旨を踏み込んで指摘することも委員の方は意識してほしい。

生駒委員) 資料1-1に示された平成24年度の対応結果一覧で、トータルの件数が233件となっているが、この件数は施策進行管理・評価票チェックシートの要改善判定の総数と同じという理解でよろしいか。

青木担当係長) 今回の施策進行管理・評価票チェックシートについては、コメント欄を「改善意見等」と「感想等」に分けさせていただいたが、そのうち「改善意見等」に記載されたものの総数である。

生駒委員) 前回(平成23年度分)と今回(平成24年度分)とではチェックポイントが若干変更されているため、一概に比較はできないが、対応結果を見た印象としては、平成23年度と比べて「評価区分選択理由等の妥当性」や「参考指標の妥当性」の指摘件数の割合は減り、改善されていると思われるが、目標等の具体性・妥当性は、件数の割合にあまり変化がなく、課題として残っていると思われるが、事務局もそういった認識であると考えてよいか。

対馬担当課長) 課題認識として、目標の設定については、そもそもの総合計画の作りがアウトプットが主となっており、成果説明もそれに連動した書きぶりになってしまっているという認識はある。

## 議事(2) 平成25年度施策評価の検証について

垣内委員長) 事務局の説明に対して、御質問、御意見等があればお願いしたい。

戸田委員) 施策の目標の立て方について、現在の評価票では、施策の概念的なものが書かれているものが見受けられる。ベンチマークを設定するなど、目標を明確化した方が分かりやすいと思われる。また、施策については、達成が難しいものや予算が付けば達成できてしまうものもあるため、一律に評価することは難しい。例えば施策に難易度を設定することなどは、将来的に可能なのか。

対馬担当課長) 目標の立て方については、昨年の委員会の提言でも「目標・指標の明確化等の更なる推進」という指摘をいただいております、来月からの新たな総合計画の策定作業においては、なるべく総合計画の中に具体的な目標となる市民満足度などのアウトカムの指標を取り入れられるよう検討していきたい

と考えている。

また、目標における難易度の設定については、市の重点的な事業などを位置付けて、重点的に進行管理していくということは現在考えているが、市の事業は多岐にわたっており、中々個別の事業ごとに難易度を設定することは難しく、職員の人事評価などの内部的なものは、個別の目標ごとに難易度を設定している例もあるが、今後の課題であると感じている。

能條委員) 資料2-1の8ページの着眼点③について、施策の目標欄の記載内容が難解なものになっていないかをチェックする項目となっているが、事例6では解決すべき課題に対する当該年度の成果欄に関しての事例紹介になっている。

青木担当係長) 着眼点③と⑥は、いずれも用語の分かりやすさに関する着眼点であることから、どの欄における記載かということは関係なく、説明するのに分かりやすい例として、事例6を引用したものである。

野口委員) 当該委員会については、評価票の分かりやすさに主眼をおいて進めてきたが、資料2-1の平成25年度「施策進行管理・評価票」検証マニュアルの2ページ目で、総括的コメント欄に記載できる内容として、「施策が目標に向かって着実に進捗が図られているかどうかの所感や施策・事業の進め方、あり方等の意見」・「新たな総合計画における政策体系や評価制度の構築に向けて要望する意見」が追加され、今までの評価の視点から踏み込み、施策そのものの内容に対する意見についても、発言できるようになったように窺えるが、そういった認識でよいか。

対馬担当課長) 4月から新たな総合計画策定に向けて作業を進めていくことから、来年度以降は現行の総合計画の政策体系下における施策評価は実施せず、今回いただく改善意見等を次年度の評価票に直接反映できないため、新たな総合計画の策定に向けての意見等も併せていただき、今後の参考にしたいと考えている。

垣内委員長) この委員会は、基本的に実行計画に位置付けられている各施策について、所管課が実施した内部評価結果が、公正かつ客観的で分かりやすい記述になっているかを評価するものである。一方で委員から指摘があった、ベンチマークを計画に入れ込んでいないことや施策の難易度の設定、セクション間で重複している施策への意見等については、この委員会の本分ではないが、今回この総括的コメント欄に書き込むことで、委員の意見等として事務局の方でまとめて、適宜、新たな総合計画を策定する上で参考にさせていただくとい

う認識でよいか。

対馬担当課長) 政策評価委員会の提言としては、今までどおり、分かりやすさの視点で対外的にとりまとめていただくことになり、その他新たな総合計画策定に向けた御意見等については、委員会の提言としてではなく、新たな進行管理・政策体系等に活かしていくことができると考えている。

生駒委員) 25年度施策進行管理・評価票に記載される施策の目標は、実行計画期間の3カ年の目標を掲げているという認識でよいか。何を言いたいのかというと、これまで昨年・一昨年の検証は中間評価であったことから、3カ年目の最終目標に向けて、施策が順調に進展しているならば、AⅠやAⅡの評価結果となることは妥当であった。一方、今回は3カ年の最終年の評価となるため、最終目標に達してはいないものの、施策は順調に進展しているということでAⅠやAⅡの評価結果が付されるケースが生じた場合、説明として矛盾が生じると思うが、そういった認識でよいか。

対馬担当課長) そのような認識で問題ない。

生駒委員) 評価票チェックシートの改善意見等と感想等の書き分けは非常に難しい。こうした方がいいという程度のものであれば、これまでは感想等にコメントを記載していたが、迷いつつも改善してほしいのであれば、改善意見等に記載した方が意見として反映されるということか。

対馬担当課長) そういうことである。

また、新たな総合計画に関する意見等については、総括的コメント欄ではなく、例えば別の欄を設けて記載した方が書きやすいということはあるのか。

垣内委員長) 自分のイメージとしては、総括的なコメント欄を活用して各委員が新たな総合計画についての意見をお書きいただいた上で、一度皆の意見を集約して、どういう形で活用するかは事務局に考えていただくが、委員会としてどういった形の進行管理がよいかなど、メモのようなものをまとめた方がいいのではないかと思うが、いかがか。

生駒委員) この委員会の役割を、どこまでの範囲とするのかは議論のあるところと思う。

垣内委員長) この委員会の本分としては、評価票の分かりやすさの向上であるが、そ

こからスピナウトした部分の意見を事務局にお渡しすることも、この委員会の役割の範疇であると思っている。ただし、本来の役割の部分は今までどおり公表し、今後の PDCA サイクルに回してもらうが、それ以外の部分は、専門家・参加者として意見をまとめた上で、事務局にお渡しする形がよいのではないかと思っている。

特段御意見がないようであれば、とりあえず新たな総合計画に関する意見等については、総括的コメント欄に記載していただき、事務局の方で集約した際に、ボリュームがあるのであれば、場合によって別出しするなどの対応をしていただければと思う。

(意見等特になし)

垣内委員長) その他、事務局から提示された検証マニュアル、各委員の検証作業分担表について、各委員から御質問や御意見はあるか。

(意見等特になし)

垣内委員長) 事務局から提示された検証マニュアル、各委員の検証作業分担表については、修正が必要な意見はないため、事務局には、この内容で検証作業の準備を進めていただければと思う。

### 議事 (3) その他

(意見等特になし)